

私たちは「よりよい学童クラブ」を目指して活動しています

CONTENTS

# 連協ニュース

西東京市学童クラブ連絡協議会

2005/No.

7

ブログのURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

第2回会長会報告	1
定例委員会報告	
子どもたちを守ろう	2
連協基礎用語辞典	
ブログ 全面リニューアル	3
情報コーナー	
「日本の学童ほいく」を読んで	
事務局ニュース	4

## 第2回 会長会行われる

あわただしい師走の半ば、12月17日に今年度2回目の会長会を開きました。

17の学童父母会から会長さんや副会長さん等21名の出席がありました。

第一部として連協側からの連絡・伝達事項がありました。

1月の西東京市民会館で開かれる「三多摩学童保育フォーラム」のお知らせと皆様にぜひ参加して欲しい旨のお願いの他、11月に行われた対市懇談会の議事録の配布とその説明、今後の連協としては学童運営基準を作ってはどうかなどをお伝えしました。

第二部は今回の会長会での主となる意見交換会です。出席の方々を、児童館併設型の学童とそうでない単設や学校内型の学童という2つの小グループに分けての懇談をしました。

懇談の議題の一つ目は父母会の活性化や父母会での役員選出・行事の取り組みについてというものです。

役員選出にはやはり苦勞している父母会が多いようで、どこの父母会もいろいろ工夫していることが分かりました。「父母総会の参加者の中から決める」

「学年ごとに役職を割り当てて役員を選出」「希望を募る」「くじ引き」など、さまざまな方法が挙げられました。しかし、苦勞して選出した役員も学童を辞めてしまって欠員になってしまうことも多くあるようで、それを見越して役員数を多くしているという父



活発な意見の交換があった会長会

母会もありました。また、大規模の父母会になるとまとまりがつかず苦勞するとのことでした。

行事の取り組み方については、多くの父母会では実行委員制度にして役員負担を減らしているようです。懇談のもうひとつの議題は学童の民間委託や連協への意見・要望などについてです。

民間委託に関しては多くの父母は身近なものでないと感じている様子で興味関心は薄いようです。連協としては連協ニュースなどを通じて民間委託の情報などをお知らせしているのですが、残念なことにお読みいただけていないようです。連協ニュースに限らず、父母会ニュースですら読まない父母の方もいらっしゃるのご意見もありました。連協ニュースを多くの父母の方たちに読んでいただけるよう、連協も努力が必要と感じました。また、学童に関するさまざまなことで分からないことや提案がありましたら、定例会などでお話いただくなど、連協をうまく利用していただきたいと思います。

意見懇談会はおよそ50分の時間を予定していましたが、50分という時間があったという間に過ぎ去るほど、活発な意見が絶えず出ており、とても内容の濃い情報交換ができたと感じました。

最後に、各学童の会長さん、副会長さん、お忙しい中ご出席いただきましたありがとうございました。

### FM西東京に生出演!

連協の事務局員で三多摩連協の事務局長の古谷さんがFM西東京に生出演!

三多摩学童保育フォーラムの宣伝をします。再放送もあるので、ぜひ聞いてくださいね。

放送予定 2月9日(木)

生放送 13:10~14:00

再放送 22:00~22:50

放送局 FM西東京 周波数 84.2MHz  
(JCOM経由でお聞きの方は78.9MHz)

番組名 「西東京カフェテラス」

## 定例委員会報告

2005年12月17日に田無庁舎203・203会議室にて第6回定例会が開かれました。当日は、各父母会でお楽しみ会等の行事があり、皆さんお忙しい中、ご出席下さりありがとうございます。ありがとうございました。主な話題や報告は以下のとおりです。

★11月18日に行われた対市懇談会での各学童からの個別要望に対する回答は、口頭での回答だったため、文書化し連協ニュース第6号に掲載しましたので説明がありました。

★東京都の「交付金施策見直し」について、2006年1月25日に都の市長会が開催されるため市長に働きかけをしないといけないということで、市長宛てに、「来年度以降も東京都の独自加算である「学童クラブ運営費補助」を来年度以降も引き続き予算化することを東京都に要請して下さい」という内容の要請書を市長宛てに提出することに対する採決を諮り賛成多数により、要請書を提出することに決定しました。また、各市の予算一覧と順位表についての説明がありました。

★小学生女子が下校時に殺害されるという痛ましい事件が続いて起きたことをうけて、児童課から素早い対応で配布されたお手紙について確認し、子どもを危険から守る安全対策について再度話し合いました。学童

クラブからの帰り道を再度確認していただき、多少遠回りになってもお友達と分かれ一人だけになる距離が少しでも短くなるよう、また、明るい人通りの多い道を通るなどのお願いをしました。年末年始のお休みの間に、防犯ブザーの点検や学童クラブからの帰り道をお子さんと実際に通り危険箇所のチェックなどをしていただけるようお願いしました。

★1月29日に市民会館で行われる「子ども文化フェスティバル」について、事務局対応で工作・実験やお茶だしを行う説明をし、気軽にお子さんと参加下さるようお願いをしました。（詳細はチラシ参照）

★2月26日に市民会館で行われる「三多摩学童保育フォーラム」について、市連協でチラシを作成し配布し、詳しい説明をしました。開催市連協の父母は、参加費が無料になるという特典がありますので、この機会に是非一度参加されるようお願いをしました。（詳細はチラシ参照）

★11月3日に行われた「第5回学童こどもまつり」の会計報告がありました。

★以前に配布済の連協担当電話連絡網に不備があったため、訂正版を配布しました。

★その他、「子どもげきじょう西東京」よりスケートのチラシを配布しました。（副会長 伊藤）

## 子どもたちを守ろう！北芝久保の取り組み

北芝久保学童クラブ父母会 会長 田中 誠

### 1. 児童を取り巻く不穏な環境

去年は広島と栃木で下校途中の女子児童が殺害されるという痛ましい事件が相次ぎました。

北芝久保学童クラブのある芝久保小学校地区では、昨年4月末ごろから露出・つきまとい等の不審者事件がしばしば発生し、実際に学童クラブから帰宅途中の児童が不審者に遭遇するケースも起きており、この状況は現在も続いています。

### 2. 学童クラブの帰宅時間は魔の時間

こうした状況を受け、教員・PTAによる放課後のパトロールが実施されていますが、勤務時間や夕飯の支度等のため、概ね5時を過ぎると終了してしまいます。この結果、学童クラブの児童の多くが帰宅する5時以降はぱったりと人の目がなくなります。

### 3. 北芝久保学童クラブ父母会の取り組み

我々父母会では、「できることをやる」というスタンスで、昨年6月以降、以下のような取り組みをしました。

#### (1) 複数帰宅の推進

まず安全確保には「一人で帰らない」ことがもっとも有効と考え、複数帰宅のための帰宅経路の調整をしました。帰宅方向が同じ（近い）児童はそれまでも極力一緒に帰るようにしていましたが、さらに進んで、多少回り道になったり、当初申告している通学経路と異なってしまう場合でも、「一人にならない」ことを優先して帰宅経路を調整しました。

また、迎えに来られる父母がいる場合は、できるだけ途中又は近くに住む児童も一緒に帰るようにしました。

#### (2) 警察へのパトロール強化要請

もともと仕事や家庭の事情等で学童クラブに子供を預けている以上、父母だけで児童の帰宅をカバーするのは非常に困難です。そこで、田無警察署に出向いて、特に学童児が帰宅する17時から18時過ぎにかけて、児童の帰宅経路のパトロールを強化するよう要請しました。

### 4. 今後の課題

#### (1) 地域との連携強化

不審者対策においては、PTAはもちろんのこと、それ以外の地域の方々の理解と協力が不可欠です。今回の不審者事件については学校側から地域に対して情報提供がされており、父母からもいくつかの地域サークルの方に直接協力をお願いしました。ただ、こうした関係は一朝一夕にできるものではありませんので、普段から地域の方々と交流することが大切と感じています。

#### (2) 連絡体制の整備（電子メールの活用）

緊急時の連絡のために父母と指導員との間で直接電子メールをやり取りできるようにしてもらいたいところですが、今年度要望事項への市の回答を見る限り、すぐにはむずかしいようですので、今後も引き続き実現に向けて働きかけていきたいと考えています。

以上

**連協基礎用語辞典**

いよいよ三多摩学童保育フォーラムが近づいてきました。全体会や分科会に参加しても、言葉が難しいしくてわからない、なんていうことがありますよね。そこで今月と来月、基礎用語辞典を掲載します。

■全国連協（ぜんこくれんきょう）名詞（略）全国都道府県単位の連協によって構成されている。主に国レベルの交渉を行う。また毎月「日本の学童ほいく」誌を発行し、会の運営費のほとんどを賄っている。毎年、4000名以上が集まって「全国学童保育研究会」を行っている。

■三多摩連協（さんたまれんきょう）名詞（略）三多摩三多摩学童保育連絡協議会のこと。三多摩地域の市連協の集まり。ここに入会していない市では待機児がたくさん出ていることから。「入ってよかった三多摩連協」と呼ばれている。

■学童保育所（がくどうほいくしょ）名詞（略）学童学童クラブ・放課後クラブなどとも呼ばれる。保育園を卒所した子どもを対象に1948年大阪で始まる。当初は保護者が運営する自主保育が中心で、法的な根拠がなく運営されてきたが、「1学校区に最低1学童を！」「国の制度確立を！」という運動をねばり強く続けた結果、各地に自治体が運営する学童保育所が設立され、1997年には「放課後健全育成事業」として『児童福祉法』に位置づけられた。

しかし、まだ学校数の6割強しか設置されていない。

■全児童対策（ぜんじどうたいさく）（略）全児童2004年から文部科学省によって始められた「地域子ども教室事業」のこと。主に小学校の余裕教室を利用し、その学校の児童すべてを対象とするところから「全児童」と呼ばれている。「全児童」で学童保育も兼ねてしまおうという施策をとる自治体が増えていて問題になっている。中には、子どもにゼッケンをつけて管理したり、事故が頻繁に起こったりと問題がでている所がある。

■指定管理者制度（していかりんしゃせいど）

いままでは直営か、政令で定める公共的団体しか管理運営ができなかった「公の施設」を「民間活力の導入」ということで、一定の条件のもとが守られていれどどの団体でも出来るようにした制度。学童保育所でもすでに導入されているが、企業が利益を追求すると保育の低下が懸念される。

■運営基準（うんえいきじゅん）

1997年に学童保育は法制化されたが、すでに10000か所近い学童保育所があったこともあり、保育園のようなきちんとした運営基準が示されなかった。公正平等に一定の保育の水準を保障するために、運営基準の必要性を求めてられてきたが、指定管理者制度が導入され企業が参入してくる状況のもと、緊急の課題になっている。

**ブログ 全面リニューアル！**

今年度から、ホームページの他にブログ（注1）を開設しました。更新が怠りがちなホームページの代わりにとのことでしたが、やっぱり月1回程度の更新が精一杯！

そこに救世主が現れました。なんと半年で10万ヒット（注2）の経験もある、ミリオンブロガーのかたいきさんです。管理人になってたった2週間のうちに3回も背景を変更するなど、熱意がビシバシと伝わってきます。「毎日訪れてもあきさせない」を目標にがんばっていますので、ぜひ一度見に来ていただき、ぜひコメントを残してくださいね。

**★ブログの見方、コメントの仕方**

- 1.まず下記アドレスに行ってください。
- 2.いろいろな書き込みがしてあります。本文全部を読みたいと思ったら「本文を読む」をクリックします。
- 3.本文のほかにコメントが付いているとそれも一緒に表示されます。
- 4.自分もコメントしたいと思ったら、一番下にあるコメント欄に書いて投稿というところをクリックしてください。気軽に書き込んでくださいね。なお、名前のところは本名を書く事はありませんよ。



**ブログURL** <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

（注1）ブログとはブロードバンドログの略。元々はインターネット上の日記のようなものであったが、更新のしやすさからホームページの代わりになりつつある。

（注2）ブログを訪れた人が延10万人になったということ。

## 情報コーナー

## ★カンパのお願い

・カンパの趣旨一連協では様々な情報を収集するために、有志を全国研究集会やその他の会合に派遣しています。しかし全国研のように、遠方に行き、参加費を払って会合に参加するのはかなりの負担です。そこで会員の皆様よりカンパを集めて、参加費程度の補助を行っています。ご協力をお願いします。

- ・金額は？：1口200円で何口でもOKです。
- ・期限は？：3月の定例委員会まで随時受けつけています。保護者会の席などで集めていただくと幸いです。
- ・使用報告は？：総会資料に報告させていただきます。
- ・いくら足りないの？：集まった分の中で補助をしますので、決まった金額ではありません。

## ★次回定例委員会

日時：2006年2月18日（土）19：00～

場所：田無総合福祉センター

## ★連協ブログ運用中！

ブログを作りました。ブログとはインターネット上の日記が発達したものです。ホームページより簡単に更新ができます。今後、定例会の開催などのお知らせはブログで行いますので、そちらにアクセスしてください。

ブログURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

## ★連協ニュースのカラー版が出来ました。以下のサイトから！

<http://www.tonpo.net/gakudou/>

## 『日本の学童ほいく』を読んで

今月号の特集は「親子の距離はいい感じ」その中で一番印象に残ったのは「なぜ親子関係がむずかしくなるのかな」という記事。中でも「現代は子育てが自己責任になってしまっている」（本当は社会全体で育てるのですよね）や、もっと育児に参加したいお父さんがいても、現実の労働条件では困難であるという例の「意識の変化に伴っていない制度保障」などは読みながら「うん、うん」「その通り」と強くうなずくものがありました。これではよくわからないと思うので、とにかく皆さんにも是非読んでいただきたいです。

親として興味深い記事はもちろん、行政の動きや他県の行政への取り組みなども載っていて、この薄さなのに中味は濃いのです。手元にあれば読みたい特集（「きょうだいっていい」「思春期、その時あわてずに・・・」などもありました）をタイムリーに読むことができ、絶対損はないと思います。

（保谷柳沢第2 星）



## 「日本の学童ほいく」

**購読料：3960円（一年間） 今からですと月割りで購読できます。**

お申し込み <http://www.tonpo.net/gakudou/> 又は各父母会連協担当まで

## 事務局ニュース

◆1年があっという間に過ぎ、そろそろ新年度の準備が始まっています。子どもたちの安全な放課後作りがこれからの課題になっていくと思っています。で、事務局員を大募集中。一緒に「よりよい学童クラブ」を作っていきませんか？

◆事務局員の中にも何人か体調を崩している人が…。インフルエンザもはやり始めています。皆さん、ばっちり体調管理して、この冬を乗り切りましょうね。

◆今年は何年になく喪中の葉書が多かった。親を見送る年齢になったのだなと実感。

（菊池）

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会

住所：西東京市柳沢2-8-10-108 TEL 0424-67-1883

発行者：田中 謙（会長）

発行日：2006年1月21日

編集：菊池 田中 伊藤 永井 古谷 松本 加々見  
溝端 宮下 熊田 佐藤 片井木 小泉 他

メール：[renkyo@tonpo.net](mailto:renkyo@tonpo.net)

メーリングリストもあります。下記ホームページから申し込んでください。

<http://www.tonpo.net/gakudou/>